

令和7年度神奈川県児童福祉審議会総会 主な意見・質問 (令和8年3月 書面開催)

No.	議題	該当ページ	意見・質問	回答
1	(3)令和8年度当初予算案の概要について	資料3 P.4 施策1 クケコ	健常児だけに偏らないよう、障がい児などにも支援者とともに参加できる環境整備をして、多様な意見を反映する必要がある	県では、学校や団体等への訪問形式・応募による対面形式・オンライン環境での掲示板形式など複数の手法を用意し、6～29歳を対象として健常児・障がい児など問わず意見の募集を行っています。引き続き、多くの子ども・若者が参加できるように当該事業を推進して参ります。 【次世代育成課】
2	(3)令和8年度当初予算案の概要について	資料3 P.9、10 施策2	母親学級・父親学級・乳幼児健診から虐待について学ぶ機会を作ることが大切ではないかと思う。ご自身の育児の中での抑止力にもなるが、親子が集まるいろんな場所において隣の親子が虐待ではないかと気づくことで早期に発見できることもある。 自治体は受診しない親子へのフォローアップを行い、乳幼児健診の受診率を100%にしていくことで早期発見に努める必要がある。特に家庭環境に課題があったり、障がいや病気などを持って生まれたお子さんの受容に苦しむなど何らかの心配がある場合など産前産後の母親の状態でもフォローが必要なご家庭には丁寧に支援していく必要がある。母親が周囲から精神的虐待を受け、お子さんがはげ口にならないよう、母親から丁寧に悩みを聞き取り、児童虐待と簡単に分けてしまうことのないように背景を見て包括的な取り組みをお願いしたい。	県では、妊娠期からの支援が必要な妊産婦や乳幼児の早期把握、早期支援を目的に、医療機関や市町村等の関係機関間の連携体制の整備を推進しています。また、地域の支援者に対し、児童虐待予防支援に関する研修を実施することにより、人材育成を図っています。 さらに、障がい児のいる家族が地域で安心して生活を送れるよう相談支援体制を整えています。 引き続き、関係機関と連携しながら、児童虐待防止に係る普及啓発を行っていきます。 【子ども家庭課、健康増進課、障害福祉課】
3	(3)令和8年度当初予算案の概要について	資料3 P.11 ケ	体罰だけでなく、虐待について学ぶ機会をすべての人が学ぶ必要がある。自立支援協議会などで市民に向けた取り組みを行いながら、子どもたちも幼いころから教育の場で学ぶことで被害者にも加害者にもなることがわかれば少しずつ減っていくのではないかと思う。	児童虐待当事者に限らず、幅広い世代を対象とした学びの機会について、関係機関と連携しながら検討していきます。 【子ども家庭課】